

不審者情報の メール配信 はじめます



市では、不審者や子どもの安全に関わる情報を、携帯電話やパソコンのメールへ一斉配信する「子ども安全・安心メール配信システム」の運用をはじめます。

メールの一斉配信は市教育委員会から、市内の幼稚園・小学校・中学校の保護者（親や祖父母など）で希望する人に行います。また、保育所（園）や高校、総社警察署、

市青少年育成センター、スクールガードリーダー、地域の防犯ボランティア団体など、子どものいる施設や日ごろから子どもたちの安全・安心に関わる団体などにも配信します。

配信される情報は、「声かけやわいせつ行為など不審者による子どもの被害の情報」や「不審者などの目撃情報」などです。こうし

た情報は、日時や場所、不審者の特徴などを簡潔な文章にして配信します。また、学級閉鎖や緊急に保護者に連絡する必要がある情報もこのシステムを使って配信することになっています。

メール配信の登録に必要なアドレスは、最寄りの幼稚園・小学校・中学校からお知らせします。配信を希望する携帯電話やパソコ

メール配信の登録用のアドレスは学校からお知らせします

ンから空メールを送信すると登録用のメールが送られてきます。それに、必要事項を入力して送信すると、登録完了です。

配信する情報は、各学校や総社警察署などから市教育委員会へ寄せられたものです。

メール一斉配信の最大のメリットは、学校や保護者、関係機関など、多くの人が最新の情報をいち

早く同時に共有できることです。「多くの人に利用（登録）してもらえば、子どもたちの登下校の安全確保の強化につながります」。

学校教育課では、地域ぐるみで子どもを守るための効果的な手段になるとしています。

問い合わせ 学校教育課（☎8358）

●学校での防犯教室の「コマ

寸劇で身を守る方法を学ぶ

秦小学校



学校の帰り道に見知らぬ人から声を掛けられた想定寸劇

不審者から身を守る方法を子どもたちに知ってもらおうと6月21日、秦小学校で防犯教室が行われました。

不審者が校内に侵入したとの想定で避難訓練が行われた後、全児童が体育館に集合。同小学校の全教諭が演ずる寸劇を見ました。寸劇は、「学校の帰り道」、「広場で遅くまで遊ぶ」、「二人での留守番」の3幕で、日常生活に潜んでいる危険を分かりやすく演じたもの。寸劇を見た子どもたちは、「良さそうな人でも信じてはいけない」、「危ないと思ったら子ども10番の家へ逃げる」などと感想を話し合っていました。

安全・安心への合言葉は いかのおすし

「いかのおすし」は防犯標語です。各家庭で、子どもたちと絵を見ながら話し合ってみてください。

<p>い 知らない人にはついていかない。</p>	<p>の 知らない車には乗らない。</p>
<p>お 危険を感じたら、おお声を出す。</p>	<p>す 危険を感じたら、すぐに逃げる。</p>
<p>し あやしい人や車を見かけたら、大人に知らせる。</p>	